

総数 4頁の1頁
証明書番号 XXXXXXXXX

校正証明書

依頼者	XXXXX
住所	XXXXX
品名	オーディオメータ (JIS T 1201-1:2000 タイプ5)
型式	XXXXX
製造番号	XXXXX
製造者名	XXXXX
販売者名	XXXXX
校正項目	音圧レベル(受話器/イヤホンの出力)
校正方法	JQAオーディオメータ校正要領書(XXXXXXX)による。
環境条件	室温 23℃ 湿度 50% 気圧 1013 hPa
校正年月日	XXXX年XX月XX日
校正実施場所	XXXXX

校正結果は次頁以降のとおりであることを証明します。

XXXX年XX月XX日

XX県XXX市XXXXX丁目X番地X号
一般財団法人 日本品質保証機構
XXXXセンター
センター長 XXXXXX 印

校正結果

受話器／イヤホンの出力音圧（聴力レベル偏差）：

(1) [受話器番号：XXXXX]

聴力レベルの 設定値 (dB)	周波数 (Hz)			
	500	1000	2000	4000
70	0.4	0.3	1.2	0.1
35	0.2	0.1	1.1	—
30	0.2	0.1	1.1	0.0
25	0.3	0.1	1.1	0.0
20	—	—	—	0.1

(2) [受話器番号：XXXXX]

聴力レベルの 設定値 (dB)	周波数 (Hz)			
	500	1000	2000	4000
70	0.5	0.5	1.0	0.0
35	0.4	0.4	0.9	—
30	0.4	0.4	0.9	-0.1
25	0.5	0.5	0.9	-0.1
20	—	—	—	0.0

校正の拡張不確かさ ($k=2$)

周波数	不確かさ
125 Hz以上 4000 Hz以下	$U=0.7$ dB
4000 Hz超え 8000 Hz以下	$U=0.9$ dB

校正の不確かさは、拡張不確かさであり、包含係数 $k=2$ で決定され、約95%の信頼の水準を持つと推定される区間を定める。

校正の条件

- 校正に用いた標準器等
計測用Ⅱ形マイクロホン
人工耳

XXXXX
XXXXX

XXXXX
XXXXX

XXXXX
XXXXX

以下余白

附帯性能事項

周波数の精度：

(1) [受話器番号：XXXXX]

聴力レベルの 設定値 (dB)	周波数の表示値との誤差 (%)			
	周波数の設定値 (Hz)			
	500	1000	2000	4000
70	0.1	0.1	0.1	0.1

測定の拡張不確かさ $U=0.1\%$ ($k=2$)

測定の条件

1. 測定に用いた標準器等

Audio Analyzer

XXXXX

XXXXX

XXXXX

聴力レベル調整器の精度：

(1) [受話器番号：XXXXX]

周波数の 設定値 (Hz)	偏差 (dB)										
	目盛の設定値 (dB)										
	70-65	65-60	60-55	55-50	50-45	45-40	40-35	35-30	30-25	25-20	20-15
4000	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.0	-0.1	—

測定の拡張不確かさ $U=0.1\text{ dB}$ ($k=2$)

測定の条件

1. 測定に用いた標準器等

精密計測用レベル計

XXXXX

XXXXX

XXXXX

イヤホン出力の高調波ひずみ：

(1) [受話器番号：07656]

聴力レベルの 設定値 (dB)	歪率 (%)			
	周波数の設定値 (Hz)			
	500	1000	2000	4000
70	0.2	0.3	0.2	0.1

(2) [受話器番号：07805]

聴力レベルの 設定値 (dB)	歪率 (%)			
	周波数の設定値 (Hz)			
	500	1000	2000	4000
70	0.2	0.3	0.2	0.2

測定の拡張不確かさ $U=0.2\%$ ($k=2$)

測定の条件

1. 測定に用いた標準器等

Audio Analyzer

XXXXX

XXXXX

XXXXX

断続器の動作：

良好

妨害音：

良好

特記事項

付帯性能事項の周波数の精度、聴力レベル調整器の精度、イヤホン出力の高調波ひずみ、断続器の動作、妨害音は、JCSS認定校正の範囲に含まない。

以上